

4 鳥取県感染症発生動向調査情報（月報）

（鳥取県感染症対策推進協議会情報解析部会）

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

平成29年2月14日(火)
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

平成29年第1週から平成29年第4週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(1週～4週)4週 (H29. 1. 2 ～ H29. 1. 29)	前回(49週～52週)4週 (H28. 12. 5 ～ H29. 1. 1)	前々回(45週～48週)4週 (H28. 11. 7 ～ H28. 12. 4)
1 インフルエンザ (1,660) [↑ 1,400]	1 感染性胃腸炎 (1,097)	1 感染性胃腸炎 (1,002)
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (347) [↑ 53]	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (294)	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (295)
3 感染性胃腸炎 (323) [↓ 774]	3 インフルエンザ (260)	3 RSウイルス感染症 (227)
4 流行性耳下腺炎 (78) [↓ 27]	4 流行性耳下腺炎 (105)	4 流行性耳下腺炎 (117)
5 水痘 (63) [↓ 7]	5 RSウイルス感染症 (93)	5 水痘 (61)
6 RSウイルス感染症 (25) [↓ 68]	6 水痘 (70)	6 突発性発疹 (33)
7 その他 (75) [↓ 42]	7 その他 (117)	7 その他 (93)
(合計 2,571)	(合計 2,036)	(合計 1,828)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は、2,571件であり、26%(535件)の増となった。

増加した疾病		減少した疾病	
インフルエンザ	538%	RSウイルス感染症	73%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18%	感染性胃腸炎	71%
		流行性耳下腺炎	26%
		水痘	10%

3 コメント

- ・インフルエンザ注意報が発令されました。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令されました。全域で増加しており注意が必要です。

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

平成29年3月14日(火)
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

平成29年第5週から平成29年第8週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(5週～8週)4週 (H29.1.30～H29.2.26)	前回(1週～4週)4週 (H29.1.2～H29.1.29)	前々回(49週～52週)4週 (H28.12.5～H29.1.1)
1 インフルエンザ (2,114) [↑ 454]	1 インフルエンザ (1,660)	1 感染性胃腸炎 (1,097)
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (434) [↑ 87]	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (347)	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (294)
3 感染性胃腸炎 (270) [↓ 53]	3 感染性胃腸炎 (323)	3 インフルエンザ (260)
4 流行性耳下腺炎 (75) [↓ 3]	4 流行性耳下腺炎 (78)	4 流行性耳下腺炎 (105)
5 水痘 (61) [↓ 2]	5 水痘 (63)	5 RSウイルス感染症 (93)
6 咽頭結膜熱 (28) [↑ 5]	6 RSウイルス感染症 (25)	6 水痘 (70)
7 その他 (78) [↑ 3]	7 その他 (75)	7 その他 (117)
(合計 3,060)	(合計 2,571)	(合計 2,036)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は、3,060件であり、19%(489件)の増となった。

増加した疾病		減少した疾病	
流行性角結膜炎	109%	感染性胃腸炎	16%
インフルエンザ	27%	流行性耳下腺炎	4%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25%	水痘	3%
咽頭結膜熱	22%		

3 コメント

- ・インフルエンザ注意報が発令中です。減少傾向を示していますが、引き続き注意が必要です。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令されており、注意が必要です。

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

平成29年4月11日(火)
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

平成29年第9週から平成29年第13週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(9週～13週)5週 (H29. 2. 27 ~ H29. 4. 2)	前回(4週～8週)5週 (H29. 1. 23 ~ H29. 2. 26)	前々回(51週～3週)5週 (H28. 12. 19 ~ H29. 1. 22)
1 インフルエンザ (1, 580) [↓1, 172]	1 インフルエンザ (2, 752)	1 インフルエンザ (1, 243)
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (565) [↑ 20]	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (545)	2 感染性胃腸炎 (648)
3 感染性胃腸炎 (509) [↑150]	3 感染性胃腸炎 (359)	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (351)
4 流行性耳下腺炎 (198) [↑110]	4 流行性耳下腺炎 (88)	4 流行性耳下腺炎 (109)
5 水痘 (63) [↓ 11]	5 水痘 (74)	5 水痘 (78)
6 咽頭結膜熱 (54) [↑ 19]	6 咽頭結膜熱 (35)	6 RSウイルス感染症 (40)
7 その他 (124) [↑ 24]	7 その他 (100)	7 その他 (109)
(合計 3, 093)	(合計 3, 953)	(合計 2, 578)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は、3,093件であり、22%(860件)の減となった。

増加した疾病		減少した疾病	
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるものに限る)	3,000%	インフルエンザ	43%
流行性耳下腺炎	125%	水痘	15%
咽頭結膜熱	54%		
感染性胃腸炎	42%		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4%		

3 コメント

- ・インフルエンザ注意報が発令中です。減少傾向を示していますが、中部地区で流行しており注意が必要です。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令されており、注意が必要です。
- ・流行性耳下腺炎注意報が発令され、東部地区で流行しています。
- ・感染性胃腸炎が中部地区で流行しています。ロタウイルスによる感染性胃腸炎も中部地区で発生しており、注意が必要です。
- ・咽頭結膜熱は、西部地区で患者報告数が増加しており、注意が必要です。

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

平成29年5月11日(木)
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

平成29年第14週から平成29年第17週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(14週～17週)4週 (H29.4.3～H29.4.30)	前回(10週～13週)4週 (H29.3.6～H29.4.2)	前々回(6週～9週)4週 (H29.2.6～H29.3.5)
1 インフルエンザ (548) [↓666]	1 インフルエンザ (1,214)	1 インフルエンザ (1,845)
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (525) [↑69]	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (456)	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (425)
3 感染性胃腸炎 (490) [↑66]	3 感染性胃腸炎 (424)	3 感染性胃腸炎 (270)
4 流行性耳下腺炎 (159) [↓5]	4 流行性耳下腺炎 (164)	4 流行性耳下腺炎 (97)
5 水痘 (52) [↓3]	5 水痘 (55)	5 水痘 (54)
6 咽頭結膜熱 (43) [↓6]	6 咽頭結膜熱 (49)	6 突発性発疹 (31)
7 その他 (92) [↓11]	7 その他 (103)	7 その他 (71)
(合計 1,909)	(合計 2,465)	(合計 2,793)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は、1,909件であり、23%(556件)の減となった。

増加した疾病		減少した疾病	
感染性胃腸炎	16%	インフルエンザ	55%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15%	感染性胃腸炎(ロタウイルスによるものに限る)	42%
		咽頭結膜熱	12%
		水痘	5%
		流行性耳下腺炎	3%

3 コメント

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。患者報告数が増加傾向を示しており、注意が必要です。
- ・流行性耳下腺炎注意報が発令中です。東部及び中部地区で流行しています。

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

平成29年6月13日(火)
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

平成29年第18週から平成29年第21週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(18週～21週)4週 (H29.5.1～H29.5.28)	前回(14週～17週)4週 (H29.4.3～H29.4.30)	前々回(10週～13週)4週 (H29.3.6～H29.4.2)
1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (588) [↑ 63]	1 インフルエンザ (548)	1 インフルエンザ (1,214)
2 感染性胃腸炎 (528) [↑ 38]	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (525)	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (456)
3 流行性耳下腺炎 (102) [↓ 57]	3 感染性胃腸炎 (490)	3 感染性胃腸炎 (424)
4 インフルエンザ (67) [↓ 481]	4 流行性耳下腺炎 (159)	4 流行性耳下腺炎 (164)
5 咽頭結膜熱 (53) [↑ 10]	5 水痘 (52)	5 水痘 (55)
6 水痘 (30) [↓ 22]	6 咽頭結膜熱 (43)	6 咽頭結膜熱 (49)
7 その他 (119) [↑ 27]	7 その他 (92)	7 その他 (103)
(合計 1,487)	(合計 1,909)	(合計 2,465)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は、1,487件であり、22%(422件)の減となった。

増加した疾病		減少した疾病	
流行性角結膜炎	250%	インフルエンザ	88%
咽頭結膜熱	23%	水痘	42%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12%	流行性耳下腺炎	36%
感染性胃腸炎	8%		

3 コメント

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。特に、中部及び西部地区で患者報告数が多く、引き続き注意が必要です。
- ・流行性耳下腺炎は、注意報が解除されましたが、東部及び中部地区では引き続き患者報告数が多く、注意が必要です。
- ・ヘルパンギーナは、中部地区で患者報告数が増加傾向を示しており、注意が必要です。
- ・流行性角結膜炎は、東部地区で患者報告数が多く、注意が必要です。

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

平成29年7月11日(火)
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

平成29年第22週から平成29年第26週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(22週～26週)5週 (H29.5.29～H29.7.2)	前回(17週～21週)5週 (H29.4.24～H29.5.28)	前々回(12週～16週)5週 (H29.3.20～H29.4.23)
1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (788) [↑ 54]	1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (734)	1 インフルエンザ (980)
2 手足口病 (602) [↑ 585]	2 感染性胃腸炎 (646)	2 感染性胃腸炎 (619)
3 感染性胃腸炎 (536) [↓ 110]	3 流行性耳下腺炎 (136)	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (569)
4 ヘルパンギーナ (220) [↑ 198]	4 インフルエンザ (131)	4 流行性耳下腺炎 (204)
5 流行性耳下腺炎 (94) [↓ 42]	5 咽頭結膜熱 (72)	5 水痘 (70)
6 咽頭結膜熱 (72) [± 0]	6 水痘 (40)	6 咽頭結膜熱 (52)
7 その他 (125) [↓ 13]	7 その他 (138)	7 その他 (129)
(合計 2,437)	(合計 1,897)	(合計 2,623)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は、2,437件であり、28%(540件)の増となった。

増加した疾病		減少した疾病	
手足口病	3,441%	インフルエンザ	92%
ヘルパンギーナ	900%	流行性耳下腺炎	31%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7%	感染性胃腸炎	17%

3 コメント

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。引き続き注意が必要です。
- ・手足口病警報が発令中です。患者報告数が県内全域で増加しています。特に中部及び西部地区では急激に増加しており、警戒が必要です。
- ・ヘルパンギーナの患者報告数が県内全域で増加傾向を示しており、注意が必要です。

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

平成29年8月8日(火)
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

平成29年第27週から平成29年第30週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(27週～30週)4週 (H29.7.3～H29.7.30)	前回(23週～26週)4週 (H29.6.5～H29.7.2)	前々回(19週～22週)4週 (H29.5.8～H29.6.4)
1 手足口病 (834) [↑254]	1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (600)	1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (672)
2 感染性胃腸炎 (358) [↓67]	2 手足口病 (580)	2 感染性胃腸炎 (510)
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (295) [↓305]	3 感染性胃腸炎 (425)	3 流行性耳下腺炎 (101)
4 ヘルパンギーナ (210) [↑5]	4 ヘルパンギーナ (205)	4 咽頭結膜熱 (60)
5 RSウイルス感染症 (72) [↑60]	5 流行性耳下腺炎 (72)	5 手足口病 (39)
6 流行性耳下腺炎 (48) [↓24]	6 咽頭結膜熱 (54)	6 ヘルパンギーナ (34)
7 その他 (126) [↑34]	7 その他 (92)	7 その他 (144)
(合計 1,943)	(合計 2,028)	(合計 1,560)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は、1,943件であり、4%(85件)の減となった。

増加した疾病		減少した疾病	
RSウイルス感染症	500%	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	51%
水痘	53%	咽頭結膜熱	41%
手足口病	44%	流行性耳下腺炎	33%
流行性角結膜炎	22%	感染性胃腸炎	16%
ヘルパンギーナ	2%		

3 コメント

- ・手足口病警報が発令中です。患者報告数は減少傾向を示していますが引き続き注意が必要です。
- ・RSウイルス感染症は、東部地区で患者報告数が急増しており、注意が必要です。

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

平成29年9月12日(火)
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

平成29年第31週から平成29年第35週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(31週～35週)5週 (H29.7.31～H29.9.3)	前回(26週～30週)5週 (H29.6.26～H29.7.30)	前々回(21週～25週)5週 (H29.5.22～H29.6.25)
1 感染性胃腸炎 (323) [↓133]	1 手足口病 (1,108)	1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (817)
2 RSウイルス感染症 (268) [↑194]	2 感染性胃腸炎 (456)	2 感染性胃腸炎 (565)
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (265) [↓163]	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (428)	3 手足口病 (337)
3 手足口病 (265) [↓843]	4 ヘルパンギーナ (268)	4 ヘルパンギーナ (170)
5 ヘルパンギーナ (87) [↓181]	5 RSウイルス感染症 (74)	5 流行性耳下腺炎 (95)
6 咽頭結膜熱 (82) [↑38]	6 流行性耳下腺炎 (62)	6 咽頭結膜熱 (81)
7 その他 (178) [↑26]	7 その他 (152)	7 その他 (140)
(合計 1,468)	(合計 2,548)	(合計 2,205)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は、1,468件であり、42%(1,080件)の減となった。

増加した疾病		減少した疾病	
インフルエンザ	2,500%	手足口病	76%
RSウイルス感染症	262%	ヘルパンギーナ	68%
咽頭結膜熱	86%	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38%
		感染性胃腸炎	29%
		流行性耳下腺炎	26%
		水痘	20%

3 コメント

- ・手足口病警報が発令中です。患者報告数は減少していますが、注意が必要です。
- ・RSウイルス感染症の患者報告数が増加しており、注意が必要です。
- ・咽頭結膜熱は、東部及び中部地区で患者報告数が増加しており、注意が必要です。
- ・インフルエンザは、西部地区で集団発生事例が報告されており、注意が必要です。

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

平成29年10月10日(火)
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

平成29年第36週から平成29年第39週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(36週～39週)4週 (H29.9.4～H29.10.1)	前回(32週～35週)4週 (H29.8.7～H29.9.3)	前々回(28週～31週)4週 (H29.7.10～H29.8.6)
1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (290) [↑ 87]	1 感染性胃腸炎 (247)	1 手足口病 (633)
2 感染性胃腸炎 (275) [↑ 28]	2 RSウイルス感染症 (207)	2 感染性胃腸炎 (336)
3 RSウイルス感染症 (256) [↑ 49]	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (203)	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (280)
4 手足口病 (96) [↓ 88]	4 手足口病 (184)	4 ヘルパンギーナ (162)
5 咽頭結膜熱 (79) [↑ 10]	5 咽頭結膜熱 (69)	5 RSウイルス感染症 (129)
6 突発性発疹 (31) [↓ 10]	6 ヘルパンギーナ (65)	6 流行性耳下腺炎 (49)
7 その他 (118) [↓ 26]	7 その他 (144)	7 その他 (123)
(合計 1,145)	(合計 1,119)	(合計 1,712)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は、1,145件であり、2%(26件)の増となった。

増加した疾病		減少した疾病	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43%	ヘルパンギーナ	75%
RSウイルス感染症	24%	手足口病	48%
咽頭結膜熱	14%	流行性耳下腺炎	42%
感染性胃腸炎	11%	突発性発疹	24%
		インフルエンザ	19%

3 コメント

- ・RSウイルス感染症は、中部及び西部地区で患者報告数が増加しており、注意が必要です。
- ・咽頭結膜熱は、東部地区で患者報告数が引き続き増加しており、注意が必要です。

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

平成29年11月14日(火)
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

平成29年第40週から平成29年第43週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(40週～43週)4週 (H29.10.2～H29.10.29)	前回(36週～39週)4週 (H29.9.4～H29.10.1)	前々回(32週～35週)4週 (H29.8.7～H29.9.3)
1 感染性胃腸炎 (358) [↑ 83]	1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (290)	1 感染性胃腸炎 (247)
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (292) [↑ 2]	2 感染性胃腸炎 (275)	2 RSウイルス感染症 (207)
3 RSウイルス感染症 (129) [↓ 127]	3 RSウイルス感染症 (256)	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (203)
4 手足口病 (88) [↓ 8]	4 手足口病 (96)	4 手足口病 (184)
5 咽頭結膜熱 (62) [↓ 17]	5 咽頭結膜熱 (79)	5 咽頭結膜熱 (69)
6 流行性角結膜炎 (40) [↑ 11]	6 突発性発疹 (31)	6 ヘルパンギーナ (65)
7 その他 (85) [↓ 33]	7 その他 (118)	7 その他 (144)
(合計 1,054)	(合計 1,145)	(合計 1,119)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は、1,054件であり、8%(91件)の減となった。

増加した疾病		減少した疾病	
流行性角結膜炎	38%	インフルエンザ	76%
ヘルパンギーナ	31%	RSウイルス感染症	50%
感染性胃腸炎	30%	咽頭結膜熱	22%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1%	手足口病	8%

3 コメント

- ・RSウイルス感染症は、中部及び西部地区の患者報告数が引き続き多い状況です。
- ・咽頭結膜熱は、東部地区で患者報告数が引き続き多い状況であり、注意が必要です。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、患者報告数が増加傾向を示しており、注意が必要です。

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

平成29年12月12日(火)
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

平成29年第44週から平成29年第48週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(44週～48週)5週 (H29.10.30～H29.12.3)	前回(39週～43週)5週 (H29.9.25～H29.10.29)	前々回(34週～38週)5週 (H29.8.21～H29.9.24)
1 感染性胃腸炎 (555) [↑130]	1 感染性胃腸炎 (425)	1 感染性胃腸炎 (331)
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(483) [↑110]	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(373)	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(325)
3 手足口病 (96) [↓4]	3 RSウイルス感染症 (183)	3 RSウイルス感染症 (298)
4 RSウイルス感染症 (86) [↓97]	4 手足口病 (100)	4 手足口病 (182)
5 咽頭結膜熱 (68) [↓11]	5 咽頭結膜熱 (79)	5 咽頭結膜熱 (112)
6 インフルエンザ (63) [↑57]	6 流行性角結膜炎 (52)	6 突発性発疹 (44)
7 その他 (173) [↑64]	7 その他 (109)	7 その他 (169)
(合計 1,524)	(合計 1,321)	(合計 1,461)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は、1,524件であり、15%(203件)の増となった。

増加した疾病		減少した疾病	
インフルエンザ	95%	RSウイルス感染症	53%
感染性胃腸炎	31%	咽頭結膜熱	14%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29%	流行性角結膜炎	10%
		手足口病	4%

3 コメント

- ・インフルエンザは、流行が始まり、注意が必要です。特に、中部及び西部地区で患者報告数が多い状況です。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令されました。県内全域で患者報告数が増加しており注意が必要です。
- ・感染性胃腸炎は、患者報告数が増加しており、特に中部地区で多い状況です。
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、近年増加傾向を示しており、高齢者が多い状況です。
- ・梅毒は、全国同様に近年患者報告数が増加しており、特に男性が多い状況です。

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

平成30年1月11日(木)
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

平成29年第49週から平成29年第52週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(49週～52週)4週 (H29.12.4～H29.12.31)	前回(45週～48週)4週 (H29.11.6～H29.12.3)	前々回(41週～44週)4週 (H29.10.9～H29.11.5)
1 インフルエンザ ² (1,108) [↑1,046]	1 感染性胃腸炎 (454)	1 感染性胃腸炎 (365)
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(549) [↑140]	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(409)	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(289)
3 感染性胃腸炎 (502) [↑48]	3 手足口病 (69)	3 RSウイルス感染症 (114)
4 手足口病 (70) [↑1]	4 RSウイルス感染症 (65)	4 手足口病 (98)
5 咽頭結膜熱 (53) [↓1]	5 インフルエンザ ² (62)	5 咽頭結膜熱 (59)
6 RSウイルス感染症 (47) [↓18]	6 咽頭結膜熱 (54)	6 流行性角結膜炎 (34)
7 その他 (105) [↓41]	7 その他 (146)	7 その他 (90)
(合計 2,434)	(合計 1,259)	(合計 1,049)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は、2,434件であり、93%(1,175件)の増となった。

増加した疾病		減少した疾病	
インフルエンザ	1,687%	流行性角結膜炎	36%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34%	RSウイルス感染症	28%
感染性胃腸炎	11%	咽頭結膜熱	2%
手足口病	1%		

3 コメント

- ・インフルエンザ注意報が発令されました。患者報告数は県内全域で増加傾向を示しており、特に中部地区における患者報告数が多く、注意が必要です。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。特に西部地区で患者報告数が増加しており、注意が必要です。
- ・感染性胃腸炎の患者報告数が多い状況です。特に東部地区の患者報告数が多く、注意が必要です。